

ニュース し de と 知っ解く

しょうがっこうていがかねん
小学校低学年

ヘラクレスオオカブトに見入る子どもたち＝熊本市東区



Q1

世界にカブトムシは何種類いますか。

Q2

日本産のカブトムシは何種類ですか。

Q3

外国産のカブトムシを自然に放すとどうなりますか。()にあてはまる言葉をいれましょう。

Q4

みなさんはカブトムシを飼ってみたいですか。

難しい漢字と言葉

生物多様性…生きもの

のたちの豊かな個性と

つながりのこと。すべての生きもの一つひとつに個性があり、支えあって生きているということ。

興味津々…おもしろいと感じる気持ちが、次から次へとわいてくるようす。

カブトムシ 正しい飼育を

熊本市で講座

カブトムシやクワガタの飼育方法を学ぶ講座が1、2日の両日、熊本市東区の市環境総合センターであり、市動植物園の職員が「外国産は絶対、自然に放さないで」と伝えた。センターが生物多様性を考えて正しく飼ってもらおうと開催。親子連れが聞いた。

市動植物園いきもの学習センター担当の松成忠広さんが講師。カブトムシの種類について「世界に1600種いるが、日本産は3種類のみ。外国産を放す

と、日本産の食べ物やすみかを奪ってしまう」と話した。

子どもたちは興味津々の様子でカブトムシやクワガタを観察し、種類の名前を当てるクイズを楽しんだ。託麻西小2年の井芹颯君は「飼っているカブトムシの幼虫がさなぎになって、成虫になるのが、ますます楽しみになった」と話した。

市作成の生物多様性を学ぶ副読本「いきものさがし」の読み聞かせもあった。(伊藤恩希)

2023年7月4日付

記事、写真を再構成しました